

図書館における防災対策の調査

05L4164 國島 未奈子

1. 図書館の防災

わが国でも阪神淡路大震災、十勝沖地震、新潟中越地震などで図書館の被害が発生している。被害の内容としては、壁の亀裂やガラスの破損、窓やドアの歪み、照明器具等の落下、給水管・配水管の破損、書架の転倒・倒壊、書架の変形・傾き、図書の散逸、図書の水濡れ、什器の落下などがあつた。

2. 図書館防災の基準

国際的にはユネスコの「文書館防災ガイドライン GUIDELINE ON DISASTER PREVENTION AND CONTROL IN ARCHIVES」や「IFLA 図書館資料の予防的保存対策の原則 IFLA Principle for the Care and Handling of Library Material」がある。わが国では阪神淡路大震災の経験を生かすため、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会が「文書館防災の手引き」をまとめている。

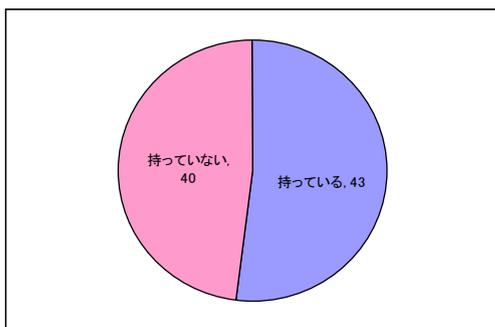
3. 図書館防災体制についての調査

東海・東南海地震で被害の恐れがある愛知、岐阜、三重、静岡の公立図書館における地震に対する意識や建物の調査を試みた。対象 278 館に案内を送付し (2008/7/17-8/1)、Web ページのアンケート記入を依頼した。83 館から回答が得られた。

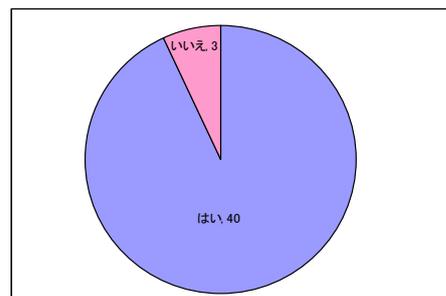


4. 調査結果

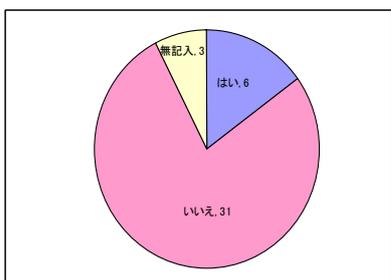
(1) 防災指針やマニュアルの有無



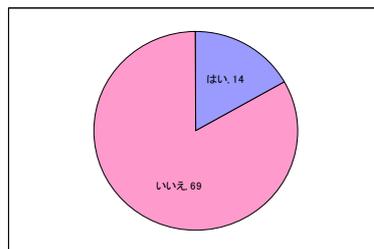
(2) 指針・マニュアルに基づく図書館員の定期的な教育の有無



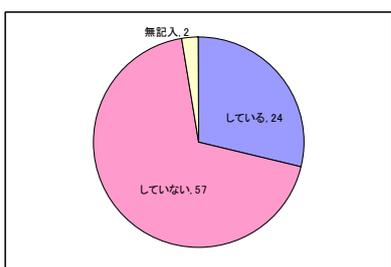
(3) もっていない場合、今後作成予定



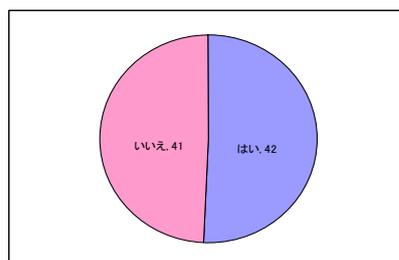
(7) 什器・備品の耐震対策の有無



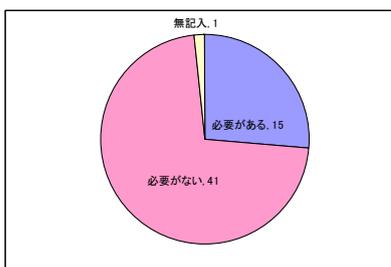
(4) 耐震診断の有無



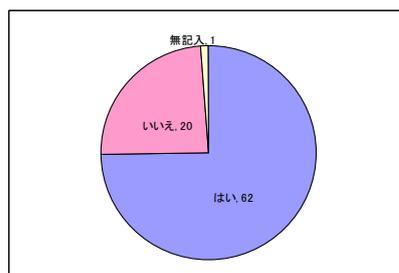
(8) 強化ガラスまたは飛散防止の有無



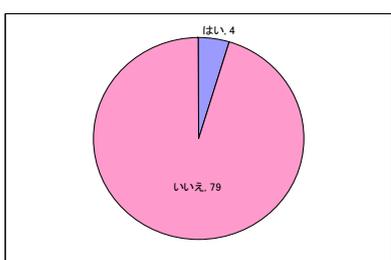
(5) 耐震診断していないばあい、必要性



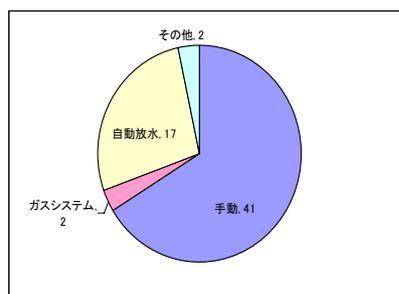
(9) 消火システムの有無



(6) 資料落下防止の有無



(10) 消火システムのタイプ



5. 考察

図書館は災害対策に対して意識を持って取り組みを行っていることが分かったが、まだ多くの図書館において今後対策が必要であろうと考える。

6. おわりに

アンケート調査にご協力いただきました愛知、岐阜、三重、静岡 4 県の図書館の皆様には感謝いたします。